

地下鉄七隈線（天神南～博多）沿線まちづくりガイドライン検討委員会

《第 3 回》

【目次】

第 1 回検討委員会資料

- はじめに…………… 1-1
- 対象範囲の設定と基本的な考え方…………… 1-4
- 地区の魅力の整理…………… 1-5

第 2 回検討委員会資料

- 地区の問題点等…………… 2-1
- まちづくりの目標の検討…………… 2-2
- まちづくりのテーマの検討…………… 2-3

第 3 回検討委員会資料

- まちづくりの目標の検討…………… 3-1
- まちづくりのテーマの検討…………… 3-2

2012.08.9

0. はじめに

(1) 地下鉄七隈線（天神南～博多）沿線まちづくりガイドラインについて

①ガイドライン作成の趣旨

- 地下鉄七隈線沿線区間のルートとなる国道道路～はかた駅前通りは、天神と博多駅地区を結ぶ重要な回遊軸であり、延伸事業に合わせて回遊性の機能強化に取り組む必要があります。
- また、回遊軸の中間に新駅が設置されることから、天神と博多のつながりを強化すべく、中間駅周辺での駅を活かしたまちづくりが必要です。

以上のことから、回遊性の強化を図るため、まちづくりの指針となる「地下鉄七隈線（天神南～博多）沿線まちづくりガイドライン」を策定します。

「沿線まちづくりガイドライン」の2つの柱

- 天神と博多駅地区をつなぐ、回遊性を高めるまちづくり
- 中間駅周辺での駅を活かしたまちづくり

②ガイドライン検討委員会

○ガイドライン策定にあたっては、道路、河川、交通の各管理者を始め、沿線の地域やエリアマネジメント団体などの関係者と連携を図りながら、2つの柱に沿った、沿線のまちづくりの方向性や取り組むテーマを官民共働でまとめるため、「沿線まちづくり検討委員会」を組織します。

③検討委員会及びガイドラインの位置づけ

○検討委員会は、福岡市の附属機関等として位置し、そこで取りまとめられた成果を踏まえ福岡市として沿線まちづくりの取り組み目標に位置づけれます。

④ガイドラインの活用

- 沿線の民間開発やまちづくり活動に対し、配慮すべき事項として、周知・誘導を図ります。
- 示された方向性に沿って、沿線まちづくりの進め方を検討します。

(2) 検討委員会の内容とスケジュール

0. はじめに

- (1) 地下鉄七隈線沿線まちづくりガイドラインについて
- (2) 検討委員会の内容とスケジュール
- (3) 地下鉄七隈線沿線まちづくりの取り組み
- (4) 地下鉄七隈線延伸計画の概要

1. 対象範囲の設定と基本的な考え方

- (1) 対象範囲の設定
- (2) 検討の基本的な考え方

2. 地区の現状と問題点等

- (1) 上位計画等の整理
- (2) 「検討地区」の魅力と問題点
- (3) 「周辺地区」の魅力と連携上の課題
- (4) プロジェクト等の現状や整備動向

3. まちづくり目標の検討

「検討地区」について、将来にわたって守りつづけることが望まれるまちづくりの目標の検討

4. まちづくりテーマの検討

まちづくりの目標を受けて、当地区が目指すべきまちづくりの方向性を幾つかのテーマに分類して検討

ステップ1
(4月19日)

ステップ2

市民意見募集

ステップ3

(平成24年冬頃)

地下鉄七隈線（天神南～博多）沿線まちづくりガイドライン作成

(3) 地下鉄七隈線沿線まちづくりの取り組み

福岡市では、平成17年に2月に開業した地下鉄七隈線の整備を契機として、沿線でのより良好な市街地形成を図るため、各駅周辺において「沿線まちづくりガイドライン」を策定し、地域と行政がそれぞれ役割分担しながら沿線まちづくりに取り組んでいます。

【まちづくりの取り組み方針】

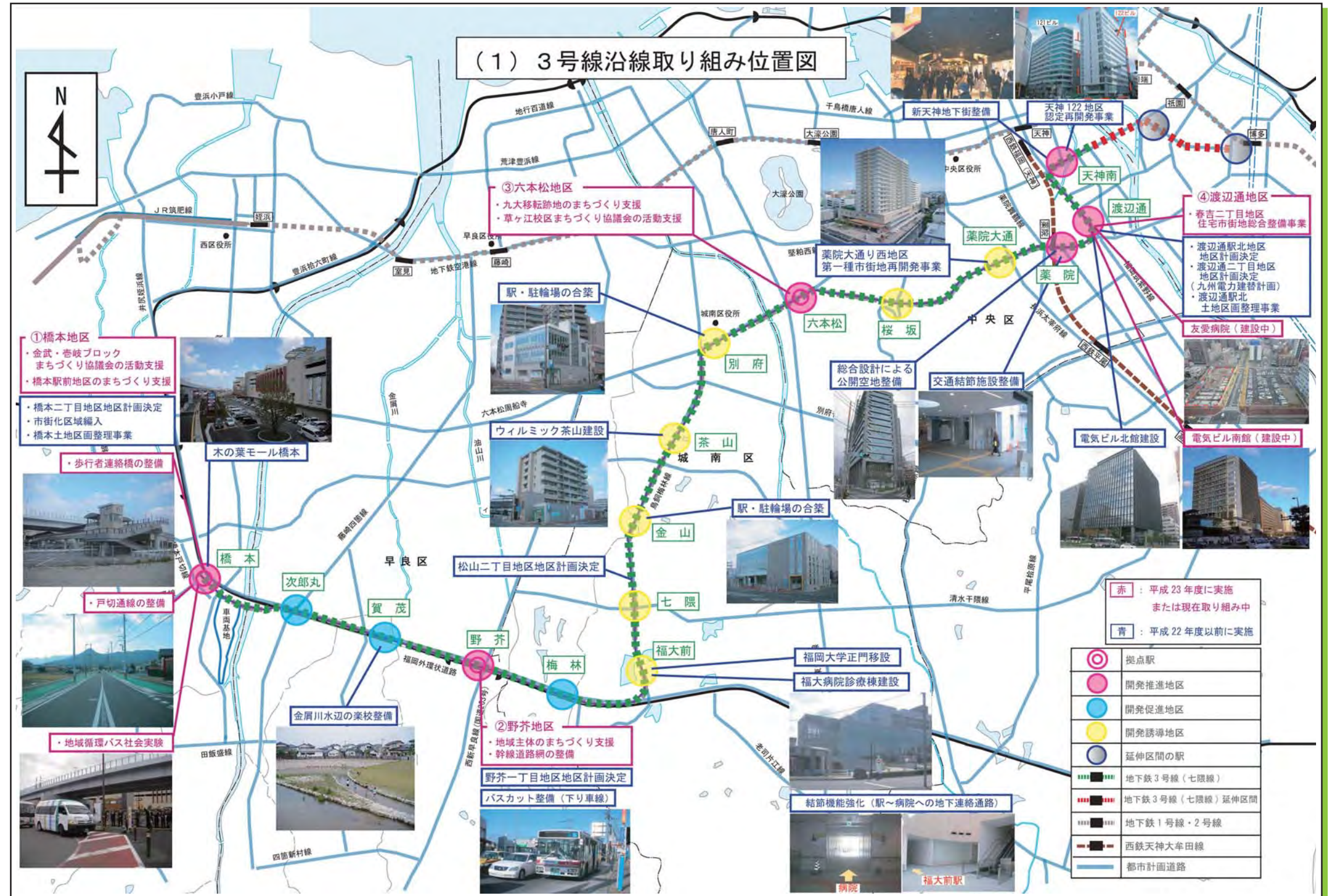
○既設線においては、沿線の良好な市街地形成を目指して、平成10年に「沿線まちづくりガイドライン」を作成しました。

◆沿線まちづくりの基本的な考え方

- ①多核連携型都市構造の形成と鉄道駅を活かした市街地の整備
- ②地下鉄3号線の交通結節機能の強化
- ③総合的な交通体系を確立する為の道路網や形成

◆沿線まちづくりの目標

- ①交通利便性の高いまち
- ②安全に移動できるまち
- ③にぎわいのあるまち
- ④調和のとれた快適なまち



(4) 地下鉄七隈線（天神南～博多）延伸計画の概要

地下鉄七隈線は、平成17年2月に橋本～天神南間を開業し、利用者も着実に増えており、地域の足として定着が進んでいます。
しかしながら、都心部の区間が未整備で残ったままとなっており、鉄道ネットワークとしては不十分な状況であることから、平成23年度より、天神南～博多間の延伸に向けた取り組みを進めています。

【計画の概要】

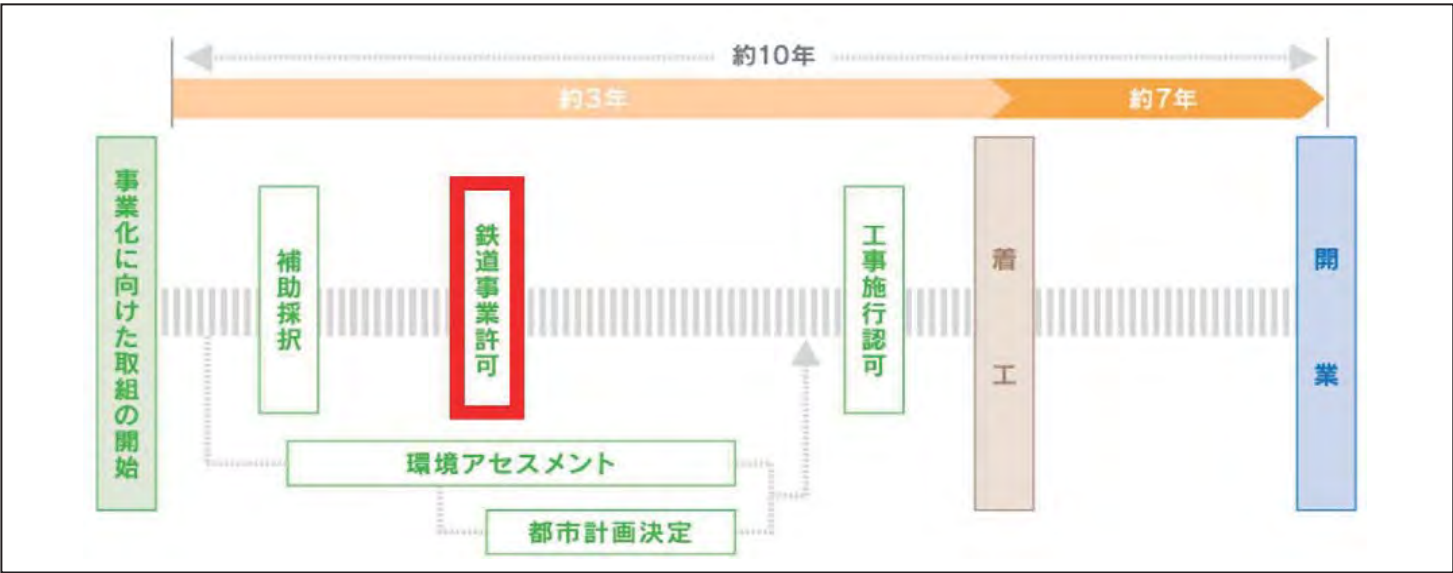
- 区間：天神南～博多
- 建設キロ：約1.4km（営業キロ：約1.6km）
- 建設費：約450億円
- 開業予定：平成32年度
- 乗車人員：約6.8万人／日（うち新規利用者：約2.1万人／日）

【最新エネルギー技術導入等による新たな駅の検討】

延伸区間の新駅整備については、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー技術の積極的活用などを検討します。

【開業までの予定】

鉄道事業許可、道路敷設許可、工事施行認可等経て、着工に至り、平成32年度の開業を予定しています。



1. 対象範囲の設定と基本的な考え方

(1) 対象範囲の設定

対象範囲を右図の「検討地区」と「周辺地区」に区分します。

検討地区

検討地区は、天神南駅と博多駅を結ぶ「国道道路」及び「はかた駅前通り」沿道とします。

周辺地区

周辺地区は、検討地区と連携することにより、まち全体の魅力を高めることができると考えられるエリアとします。

(2) 検討の基本的な考え方

「検討地区」はまちづくりテーマやまちづくりの進め方について検討します。

また、地下鉄七隈線の整備と連携しながら、主として天神と博多駅間の回遊性を高めるまちづくりや中間駅周辺での駅を活かしたまちづくりについて検討を進めます。

「周辺地区」は、主として「周辺地区」から見た「検討地区」のあり方について検討を進めます。



先行的に策定された「天神まちづくりガイドライン」及び「博多まちづくりガイドライン」等と整合を図りながら検討を進めます。

■対象範囲

